

科目名称：	英語コミュニケーションⅠ（ビジネス実務学科）	
担当者名：	ガート・ウエスタハウト	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>これからの時代、将来どのような仕事に就いても英語を話したり聞いたりする機会があるでしょう。仕事で英語を使わないという人でも、海外旅行に行くときや町で外国の人と会話するときなど、様々な場面で英語を使うことがあると思います。みなさんには中学、高校と英語を学んできた実績があります。今まで学んだことを思い出しながら、英語が得意でない人も、英会話に自信がない人も、必要な時に使えるように英語の基礎をしっかりと学びます。準備学習としては、英語の基礎があれば大丈夫です。このクラスは上級・中級です。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>必要な場面で英語が使えるように、英語の基礎を修得します。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)	50	20		30	100
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
理解	教材の内容をよく読み、理解することができる。	教材をゆっくり読むことができる。ある程度理解できる。	わからないことを調べながら、ゆっくり読むことができる。	教材をあまり読まず、理解もできていない。
理解の視点と表現	自信を持ってわかりやすく表現することができる。	促されると自分の言葉で表現することができる。	自信はないが表現ができ、すべての約束事は守れる。	発表もできず、約束も時間もルーズ。
学びへの積極性	質問や意見など、講義内で毎回1回以上発言できる。	質問や意見など、講義内でたびたび自発的に表現できる。	質問や意見など、時々表現できる。	講義に対して、聞く気がなく、居眠り、私語などがある。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 Introduction, classroom English	read this syllabus	10分
第2回 past tense, childhood	collect childhood facts	45分
第3回 childhood games and songs	begin childhood essay	45分
第4回 elementary language	continue essay	45分
第5回 Quiz 1, essay presentation	prepare presentation	45分
第6回 junior high school days	collect junior and senior high facts	45分
第7回 academics	begin junior and senior high essay	45分
第8回 clubs	continue essay	45分
第9回 movies, music	continue essay	45分
第10回 Quiz 2, essay presentations	prepare presentation	45分
第11回 college life	collect college facts	45分
第12回 academics	begin college and dream essay	45分
第13回 workplaces, part time and full time	continue college and dream essay	45分
第14回 Quiz 3; essay presentations	prepare presentation	45分
第15回 Final presentations; summary	feedback	45分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリントをまとめたり、プレゼンテーションの準備をしたりすることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、50%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。

クイズ2回 @ 10% (20) ; 発表 1回 @20% (20) ; 参加力@10% (10)

#### 課題に対するフィードバック

発表資料の下書きと最終版についてコメントする。  
学期中には学生の進捗を確認し、支援が必要な場合は対応する。

#### 教科書・参考書

プリントのみ